

分岐器 トングレール 摩耗測定器

HDP - 4 (デジタル式 防水タイプ)



(防水型)



概要

この測定器は、ポイント先端(頭部幅30mm程度までの範囲)の摩耗管理するために作られたものです。

特に、この測定器は、トングレールに取付けられた「締結装置」、「自動給油装置」、「電気融雪器(ヒータ)」などに支障されず「摩耗測定」することを目的としています。
めづかしめ、本体の測定する高さを設定します。測定は、本番をトングレール測定位置の削止面に密着させます。測定子をスライドさせ測定面にあてます。(レール頭頂面より8mm下から31mm下の範囲で可変可能です。ただし、軌間線は、14mm下の位置)このときのデジタル表示値が、測定する頭部幅の摩耗量となります。

特徴

- (1) トングレール先端部頭部幅30mm以内の測定に適し、その範囲の任意の位置で測定ができます。また、測定子は、レール頭頂面より8mm下から31mm下の高さに調整することができます。
- (2) 測定器は内蔵された磁石より、測定するトングレールに密着、固定ができます。
- (3) 測定値は、デジタル表示で(最小表示値は、0.01mm)、読取が簡単です。
- (4) 測定器は、トングレールの削正面を基準として作られています。

性能

(1) 機器の形式

分類	機器の形式	仕様 レール組合せ・半径・勾配・高さ	備考
新幹線	HDP-4AS	60K80S-R22-1/7-54	共用
		50N70S-R22-1/7-54	山形・秋田新幹線
在来線 及び私鉄	HDP-4A	60K80S-R22-1/5-54	60K用
	HDP-4BK	50N70S-R13-1/5-50	50N用 関節ポイント
	HDP-4BD	50N70S-R22-1/5-50	50N用 弾性ポイント

機器の形式

(例) 形HDP-4①②

*先端の削成面をご確認ください。

① 基本レールとトングレールの組合せ

A: 60Kレールと80Sレール

B: 50Nレールと70Sレール

② 測定器の仕様と形状

S: 新幹線仕様

K: 在来線50N関節ポイント(半径・勾配・高さ)

D: 在来線50N弾性ポイント

また、伸縮継目摩耗測定器については、お問合せください。

- (2) 防水構造で、ホールドユニットを使用して測定値を記憶することができます。
- (3) 測定器の絶対原点は、「電池切れ」「ORIGINスイッチ操作」を除き、常に記憶されています。
- (4) 電池寿命 通常の使用状態で約3.5年
- (5) 最大摩耗測定範囲 0 ~ 20mm
- (6) 最小読値 0.01mm
- (7) 寸法・重量 40x135x135 370g

株式会社 原田製作所

〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-36-2
NTT 03-3655-6165 FAX 03-3655-6766
JR 057-2229

地区代理店